

守口市立図書館運営状況についての評価及び今後の発展について

目 標		指 標	指標実績	評価及び今後に向けての意見
1 図書館サービスの充実	① 蔵書数の拡充と資料の充実	・蔵書数 ・「守口市立図書館資料収集方針」に沿った図書の収集 ・子どもの読書意欲、知的探求心に応える資料の充実 ・高齢者及び障がい者に配慮した図書の充実 ・市民ニーズの高い教養・趣味等の資料の充実	・蔵書数（図書のみ） (R2 : 187,680冊、R3 : 195,876冊) ・選書に関する研修受講者（6名） ・調べる学習や団体貸出に向けた資料を充実させるため、複本等で補充。また、ポプラディア等の事典なども積極的に選書。 ・昨年に引き続き大活字本を購入。 ・市民のリクエストを参考にニーズの高いレシピ本やコロナ下に世間で話題となったキャンプなどの趣味の本を積極的に選書。	・令和3年度末時点での蔵書数は拡充計画を大きく上回っており、今後も引き続き利用者のニーズに合った収集を行わせたい。 ・インターネットが普及されている今だからこそ、図書館としての存在感を出し、色々な利用者に寄り添うことできるレファレンスサービスを実施されたい。 ・来館者数については、数多くの来館があることから、引き続き安全に配慮した上、来館者増に向けた取り組みを実施されたい。 ・来館者と本の出会いの創出には毎月の本の展示の充実が欠かせないことから、継続して実施されたい。 ・貸出冊数や件数が増加しており、コロナ禍での巣籠もり需要を踏まえ、ニーズの高い本を選書するなど利用者に寄り添った運営ができているところは評価できる。 ・利用が少ない年齢層を分析することにより、ライフスタイルやテーマを絞り、ターゲットのニーズに合ったPRをするなど、来館者の増加に転ずる工夫を検討されたい。
	② 資料・情報提供機能の充実	・全体的なレファレンスサービスの充実	・レファレンス記録20件（簡易なものを除く） ・レファレンスに関する研修受講者（2名）	・貸出冊数や件数が増加しており、コロナ禍での巣籠もり需要を踏まえ、ニーズの高い本を選書するなど利用者に寄り添った運営ができているところは評価できる。 ・利用が少ない年齢層を分析することにより、ライフスタイルやテーマを絞り、ターゲットのニーズに合ったPRをするなど、来館者の増加に転ずる工夫を検討されたい。
	③ 図書館の効果的活用	・来館者数 ・生涯学習施設の利用者数 ・貸出冊数 ・貸出件数	・来館者数 (R2 171,174人、R3 256,696人) ・生涯学習施設の利用者数 (R2 7,383人、R3 88,248人) ・貸出冊数 (R2 210,608冊、R3 281,083冊) ・貸出件数 (R2 54,347件、R3 65,771件)	・利用者が行う各種手続きについて、利用者が不便と感じる事象を改善し、図書館利用のきっかけとなるよう各公共施設で連携を図られたい。 ・令和4年度から開始した「電子図書館」を活用し、図書館を利用しない層の方にも図書サービスを利用しやすい環境を整えられたい。
2 学びと課題解決を支援する図書館	④ 課題解決支援機能の拡充	・知識・技術の習得に向けた各種講座等の開催 ・子育て、医療・健康づくり等の身近な分野のレファレンスサービスの充実	・図書館でおしごと体験 ・里親制度の紹介展 里親支援機関おむすびと連携展示 ・初心者のためのおはなし会講座（コロナの影響により中止） ・にこにこタイム-赤ちゃんと楽しむおはなし会-（コロナの影響により中止） ・笑いは百葉の長！笑顔いっぱいDVD上映会（本の展示も同時に開催） ・ロボットプログラミング講座 ・塗ラボ～part3～伝統技法「金継ぎ」講座 ・ヒンメリワークショップ ・銅版画ワークショップ ・パレエストレッチ講座 ・Web動画配信	・市立図書館の機能として、本の貸出しだけではなく読書活動全体を活発にし、地域全体の知識や教養を向上させることを念頭に置き、運営されたい。 ・自習室については、たくさんの方に利用いただいているが、市民の声で運営側の不備等を指摘する意見がでていることから、今後はマナーの徹底など利用者に気持ちよく利用してもらえる環境づくりを検討されたい。
	⑤ 市民の学習活動を支援する機能の拡充	・自習室、自習スペースの運用 ・生涯学習施設の活用	・コロナ下により減らしていた自習室、自習スペースの席数を増加。利用マナーの掲示。利用者からもニーズにより消しゴムの消しカス入れを設置。 ・子ども読書活動推進事業 守口市立図書館一周年記念事業 気骨の作家 田島征彦が染め上げる！-絵本原画と型染の世界-展 ・よしおかアコ新作絵本原画展 ・岡田よしたか新作絵本原画展&Painting exhibition of roots ・キムラトモミの「本との気持ち」個展 ・FM-HANAKOパーソナリティ三宅奈緒子-「まちとひと」声をつなげて-	・生涯学習施設は、単なる貸し部屋ではなく、今後も社会教育施設の役割として市民の社会教育、生涯学習の推進につながる施設として活用をされたい。 ・SDGsに関連した図書の収集や事業を実施されているが、より注力していることがわかるよう発信されたい。 ・感染拡大防止対策として動画配信や在宅で参加できる事業など、コロナ禍における事業を工夫された点は評価できる。 ・子どもたちが図書館に行きたいと思うような動画の配信など図書館の魅力を発信されたい。 ・守口の特色や伝統を引き継ぎ、社会教育関係団体と連携するなどして、地域にしっかりと根付く図書館として運営されたい。 ・ワクチン接種会場のため貸室利用が少ない中、絵本原画やSDGsに関する展示、地域FMの講演等守口市立図書館らしいイベントを実施し施設の活用に努めた点は評価できる。
	⑥ 多様な学習機会と活動の場の提供	・講座やイベント等の開催回数 ・講座やイベント等の参加人数	・講座やイベント等の開催日数 (R2 335日、R3 543日) ・講座やイベント等の参加人数 (R2 3953人、R3 10557人)	・会議室やスタジオの特性を周知し、定期利用者増加の促進に努められたい。 ・昨今の感染症事情を踏まえ、健康新聞について意識して取り組まれたい。
	⑦ 歴史を学び、歴史や文化に触れることができる場の提供	・郷土資料の充実 ・歴史や文化に触れることのできる講座の開催 ・郷土資料展示室の活用	・地域紙「日日新聞」への定期的な情報提供をすると共に、「日日新聞」「河内新聞」「AGORA」を収集し郷土資料室に配架。 ・子ども読書活動推進事業 守口市立図書館一周年記念事業 気骨の作家 田島征彦が染め上げる！-絵本原画と型染の世界-展 ・岡田よしたか新作絵本原画展&Painting exhibition of roots	

目 標		指 標	指標実績	評価及び今後に向けての意見
3 子どもの読書活動を推進する図書館	⑧ 読書のきっかけづくりの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達に対するオリエンテーション、出前授業等の開催回数及び内容 ・おはなし会の開催回数 ・「こども読書の日」、「読書週間」等読書啓発に関するイベント等の開催回数及び内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生等図書館見学の受入れ回数 (R2 3回、R3 6回) ・第一中学校図書委員利用案内ビデオ製作 (R2) ・おはなし会の開催回数 (R2 12回、R3 27回) ・読書啓発に関するイベント等の開催回数 (R2 1回) ・読書週間特別企画～もりちゃん&ぐっちゃんとアコちゃんの宝探しラリー～ (R3 4回) ・子ども読書活動推進事業 守口市立図書館一周年記念事業 気骨の作家 田島征彦が染め上げる！～絵本原画と型染の世界～展 ・岡田よしたか新作絵本原画展&Painting exhibition of roots ・読書週間イベント 1行図書館 ・読書週間イベント わたしの「推し」本 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども向けの読書活動のイベントはたくさん実施されているが、中高生に対して本の魅力を伝え合えるイベントは実施できていないため、今後実施されたい。 ・イベントの実施にあたっては、テーマ設定や実施方法などを図書館司書、司書教諭、学校司書及び教諭等との連携を検討されたい。例えば、地域の自然、歴史、伝統などを生かした総合的学習を図書館を利用した調べ学習と組み合わせ、それぞれの役割で子どもを指導することで教育効果の向上が期待できる。 ・学校司書と定期的に連携する機会を設けるなど積極的に連携を図り、図書館から学校へ出向いての出前授業等の事業についても実施されたい。 ・市内小中学校の見学受け入れをされており、図書館の良さを浸透させていくためにも引き続き実施されたい。 ・子どもたちが本に親しみが持つことのできたり、本の良さを改めて感じることのできるイベントやワークショップを実施されたい。 ・学校と図書館をつなぐ役割を担う図書ボランティアとコミュニケーションを図り、図書館見学やイベントの周知など積極的に行うとともに、お互いの意見交換を行い、児童生徒のさらなる利用増加に努められたい。
	⑨ 読書環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館との連携 ・図書館司書と司書教諭や学校司書等との連携 ・中・高生に対して、本の魅力を伝え合えるイベントの開催回数及び内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校司書講習会 (R2 1回、R3 0回) ・中高生に向けたYA書架の充実、定期的な展示の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報もりぐちでは様々なコーナー記事を掲載し努力が窺える。HPやSNSだけでなく、ポスターやチラシ等のアナログな手法での情報発信も継続されたい。 ・市民が図書館を身近に感じるために、近所のコミュニティセンターや学校が情報を得られるようSNSや動画配信等のメディアを通じての情報発信方法を工夫されたい。 ・市内小学校新1年生全員に読書通帳を配布することにより、読書への興味・関心を高め、児童の図書館利用の促進が期待できる点は評価できる。
4 効果的・効率的な運営体制の図書館	⑩ 効果的・効率的な図書館運営	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画、事業報告 ・収支計画、収支報告 ・業務マニュアルの整備・見直し ・財源確保や経費節減につながる取組 		<ul style="list-style-type: none"> ・次年度の事業報告では、一つのキーワードとして持続可能な発展、開発、S D G sについても触れられたい。 ・施設・設備等の維持管理は、指定管理という特性を活かして、教育委員会と調整しながら計画的に実施されたい。
	⑪ 点検評価の徹底及び公表	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートの実施と公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートの実施回数 (R2 4回、R3 4回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備等の維持管理は、指定管理という特性を活かして、教育委員会と調整しながら計画的に実施されたい。 ・利用者アンケートはweb上での実施や民間事業者アンケートの活用など工夫しており、評価できる。 ・利用者アンケートを今後の運営に活かすためにも、回答者に対してフィードバックする機会を設けられたい。 ・職員研修については、適宜実施されており、評価できる。今後も図書館としての質を向上させるため、職員研修に注力されたい。
	⑫ 図書館職員の人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の組織内研修の実施回数及び内容 ・職員の派遣研修の件数及び内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の組織内研修の実施回数 (R2 44回、R3 51回) 内容：選書、レファレンス、棚作り、児童サービス、人権、コンプライアンス、危険予測、情報セキュリティ等 ・職員の派遣研修の件数 (R2 2回、R3 4回) 主な内容：郷土資料、公共施設マネージャー能力、ユニバーサルマナー等 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響でボランティアとの共同事業や養成講座は中止となっているため、今後の課題として引き続き検討されたい。 ・開館時間を午前9時に変更することにより、多くの市民の意見を反映させた運営ができると評価できる。 ・利用者アンケートに満足度・期待度を追加し、利用者ニーズの把握に努めており、利用者サービスの質の向上が期待できる。 ・守口文化センターをはじめ、各コミュニティセンターと積極的に意見交換を行い、情報発信、情報共有を図り、市内他施設や近隣市とも協力できる環境を構築されたい。
	⑬ ボランティアの育成及び活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア養成のための講座や講演会の回数 ・ボランティアとの協働事業数及び内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア養成のための講座や講演会の回数 (R2 0回、R3 0回) ・ボランティアとの協働事業数 (R2 0回、R3 0回) 主な内容：としかんまつりでのおはなし会実施。（コロナにより中止） 	
その他	⑭ その他			<ul style="list-style-type: none"> ・withコロナとして、当初の計画にあった事業を実施できるよう検討されたい。